

～教職支援室利用者の声～



「受験は団体戦！！？？？」

**令和6年度（令和5年度実施）茨城県公立学校教員採用候補者選考
小学校全科 合格（体育学部こどもスポーツ教育学科R6年3月卒）**

私は3年生の3月頃に教職支援室に通い始めました。初めて支援室のドアを叩くときはとても緊張したのを覚えています。支援室では、主に面接練習を指導していただきました。以下は、私が通って特に良かったと思った点です。

それは、仲間の大切さです。私は、受験は個人戦だろうとずっと思っていました。支援室には、教員を目指す多くの学生がいて日々刺激をもらっていました。茨城県は、個人面接だけでなく集団討論もありました。近年集団討論を行っている県が少なく練習がなかなかできない状態でした。それを相談したところ支援室の先生が集団討論のある学生を繋げてくれ、何度も練習をすることができました。他学部の学生との面接練習は、新たな視点に気付かされることばかりでした。面接練習をする仲間、同じ志をもつ仲間がいたからこそ最後まで頑張れたなと思います。支援室の先生に何度も丁寧に面接を指導していただいたお陰で、本番は練習通りにできました。

支援室に行けば、相談に乗ってくれる先生が沢山いますし、同じ気持ちの仲間にも出会えます。何をすればよいのか分からない、漠然とした不安に押しつぶされそうになっている方、支援室の温かい空間にぜひ行ってみてください！面接に使える資料を沢山もらえます。

「自分に自信をもつ練習」

**令和6年度（令和5年度実施）東京都公立学校教員採用選考試験
小学校全科 合格（文学部教育学科初等教育コースR6年3月卒）**

私は3年生の秋から週に一度、教職支援室に通いました。最初は小論文のご指導を頂きました。まずは小論文の書き方を定着させるよう、1つのテーマに時間をかけて書いていきました。テーマに関する教育の基礎知識を身につけながら、自分の考えを書けるようになりました。面接練習は3月から始め、

「ゆっくり、はっきり、簡潔に話す」ことを意識して練習しました。ノートに自分の回答の軸や支援室の先生のご指導をまとめ、徐々にブラッシュアップさせていきました。特に面接は、週に一度以上練習したため、自信をもって自分の思いや考えを的確に話すことができるようになりました。

支援室の先生方は、親身になって丁寧に指導して下さいました。そのため、試験当日は自信をもって受けることができ、無事に合格しました。誠にありがとうございました。

「教職支援室は夢が叶う場所」

**令和6年度（令和5年度実施）埼玉県公立学校教員採用候補者選考試験
中学校 社会 合格（文学部史学地理学科地理・環境コースR6年3月卒）**

私は3年生の5月から教職支援室に通い始め、論文や面接、集団討論の対策をしていただきました。私は論文を書くことが苦手でしたが、先生方が丁寧に分かりやすくご指導をしてくださったため、本番の試験では合格できる論文が書けるようになりました。面接や集団討論の練習では、受験自治体の傾向に合わせた対策を何度もしていただき、自信を持って本番の試験に臨むことができました。

私が試験に合格できたのは支援室の先生方のおかげです。「教師になる」という夢が叶い、先生方には本当に感謝しております。4年生になると教育実習や卒業論文の作成などもあり、採用試験の勉強との両立が大変になるため、1日でも早く支援室に足を運ぶことをおすすめします。皆さんもぜひ利用してみてください。